

(第3種郵便物認可)

# プラネタリウムに笑顔

## 豊橋 障害ある子向け観賞会

障害のある子どもたちに移動式プラネタリウムを楽しんでもらうイベントが、豊橋市障害者福祉会館さくらピアで開かれ、小中学生六人と保護者が参加した。子どもが騒いだり動いたりして周囲に迷惑をかけることを気にして一般のプラネタリウムから足を遠ざける保護者が多いことから、

さくらピアが昨年、このイベントを始めた。

移動式プラネタリウムは高さ四尺、直径六尺ほどの

大きさ。子どもたちは、ドーム内に惑星や夏の星座などの映像を投影されると、寝転がったり、会話をした



投影された映像を自由に楽しむ参加者＝豊橋市東新町の市障害者福祉会館さくらピアで

りしながら自由に観賞した。「きゃー」と声をあげたり、床をたたいたりする子も。

プラネタリウムの後は、ペットボトルを使ったランタン作りに挑戦。真っ暗にしたプラネタリウムのドーム

ム内で出来上がったランタンをとすると、子どもたちは「きれい」「楽しい」と笑顔を見せた。

プラネタリウムは初めての八歳の娘と参加した四十代の女性は「一般の施設だと厳しい視線を感じる時もある。足を運びづらい。きょうはゆったり楽しめて、貴重な時間だった」と話した。

(星野桃代)